秋田県にかほ市

- ○地域の医療関係団体(三師会)と一体的実施に関する共有会議を設置。医師等多職種からアドバイスが得られる体制が構築されており、ハイリスク保有者等に対してきめ細やかで効果的なアプローチを実施。
- ○地域のプロサッカーチーム等と連携し、健康寿命延伸に向けて様々な取組を実施。

【概況】令和4年1月31日時点

人		П	23,451人
高	齢 化	、 率	39.12%
後期	被保険	者数	4,818人
日常	生活圏	域 数	1圏域

【実施体制

市民課

国保・後期高齢者医療主管課一体的実施関係の庶務、各種事務

健康推進課

保健事業主管課

- 一体的実施の企画・調整担当
- ・企画調整担当保健師 (KDB操作)
- ·看護師(KDB操作)/管理栄養士

地域包括支援センター 通いの場担当 長寿支援課 庁舎内支援会議 情報共有

福祉課

生活保護関係、障害者関係主管課

取組経緯

国民健康保険と後期高齢者医療の間で隔たりがあり、高齢者になると年フレイル状態や介護状態になる可能性があるにも関わらず、継続的に保健事業が行えていないというジレンマがある中、一体的実施について令和2年度からスタートする旨の情報を得て、国保・後期高齢主管課において、実施体制の検討を前向きに即着手。保健事業を所管する課に協力要請し、同課に企画調整等を担当する職員を配置するとともに、一体的実施に係る担当班を設置し、国保と後期高齢の隔たりを無くした保健事業に取り組んだ。加えて地域包括支援センター等介護担当部門との連携を強化した。

それと同時期に、地域のプロサッカーチーム等との「にかほ市健幸プロジェクト」が締結され、より健康に関する事業化の機運が高まった。

企画・調整等

○庁内連携

- ・一体的実施に関係する全部署が出席する庁舎内支援者会議を設置。
- ・要フォロー者出現時は、その都度関係部署間で情報共有を図ったうえで連携し対応。

○医療関係団体との連携

一体的実施に関する医療関係団体との共有会議を設置。医師会、歯科医師会及び薬剤師会から委員として出席。事業計画やその評価、意見をもらう場であり、また、個々の事例に対して、それぞれの分野の専門職の視点で様々なアドバイスが受けられる場となっている。

ハイリスクアプローチ

○健康状態不明者に対する訪問

対象一定期間、特定健診や医療機関を受診していない人

継続フォロー者の掘り起こしや、医療機関受診や特定健診受診へとつながっている。

○重複頻回多受診、高血圧未治療者、多剤内服者に対する訪問

対象広域連合が前年度のレセプトから抽出

薬剤師会とアウトリーチ型訪問を実施し、主治医へのトレーシングレポ

- ト提出等により減薬につながる事例もある。

○糖尿病重症化予防訪問

|対象||特定健診結果において、糖尿病が重症化するリスクの高い未治療者・治療中断者 |フォローアップの旬を見逃さず、健診結果が市に到着後1週間以内に訪問している。

○オーラルフレイル者に対する訪問

対象口腔健診結果において、機能面で問題のある人や口腔乾燥のある人

歯科衛生士によるアウトリーチ型口腔指導のほか、歯科医師の助言を得て、機能面では問題がないが口腔乾燥で精神科内服薬が処方されている場合は、薬剤師による訪問を実施している。

ポピュレーションアプローチ

○フレイル予防出前講座

通いの場である各自治会のサロンに出向き、血圧測定、健康講話、体組成測定、結果説明を実施。地域包括支援センターとのタイアップ。プレフレイルが認められた方には、各種教室への参加を勧奨。

○フレイル予防「栄養教室」・「運動教室」

前年度及び今年度の特定健診結果でBMI18.5未満の人やフレイル予防を心がけたい人を対象に 実施。









○フレイル健診サポーターの養成「サポーター人材育成講座|

現在、60~80歳前までの約30名が登録。講座修了後、フレイル健診の補助に入ってもらう。

今後の課題・展望

- ・地区診断を元にどのように事業展開してアウトカムを見出すか、PDCAサイクルの難しさを実感している。
- ・本事業によって、地域にはたくさんのハイリスク者が潜在している現状を知り、そのような方をいち早く発掘し、適したルートに乗せることが喫緊の課題であると感じている。